

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

共同研究課題「日琉語族内的声調類型論の再構築」

2022 年度第 4 回研究会（通算第 8 回目）報告書

日時：2023 年 3 月 3 日（金）15:00～18:00

場所：Zoom によるオンライン開催

使用言語：日本語

共催：基幹研究「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」

プログラム：

15:00-16:15 全員

2022 年度の成果の振り返り

16:30-18:00 全員

2023 年度の目標設定と計画策定

報告者：青井隼人（AA 研共同研究員，東京外国語大学）

2022 年度第 4 回研究会では、2022 年度の成果の振り返りと、2023 年度に向けた目標設定および計画策定をおこなった。2 年目は、共同研究員がそれぞれ専門とする言語・方言について、記述・説明する声調現象を絞り込むことを目標としていた。過去 3 回の研究会では、共同研究員 6 名の発表がおこなわれた。それらの発表について改めて議論をおこない、特に以下の 3 点が注目すべき論点としてあがった：(1) 声調が関わる単位・領域の整理と方言間比較、(2) 形態論と音調型の交替の記述、(3) 従来の日本語アクセント類型論の批判的検討。2023 年度は上記(1)～(3)のトピックを軸に、1～2 件の公開研究会を実施することを目標とすることで合意した。